

# 琉球大学学術リポジトリ

## 外交史料館所蔵沖縄県出身移民の外務省記録（4）： 昭和10年代の事例

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 沖縄移民研究センター 公開日: 2020-02-26 キーワード (Ja): 外務省外交史料館, 沖縄県出身移民, 外務省記録, 昭和10年代, 開洋会館, 帰国時旅券下付 キーワード (En): 作成者: 石川, 友紀, Ishikawa, Tomonori メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24564/0002012209">https://doi.org/10.24564/0002012209</a>

## 外交史料館所蔵沖縄県出身移民の外務省記録（4） ——昭和10年代の事例——

石川友紀

- I. はじめに
- II. 沖縄県出身移民の外務省記録
- III. むすび

キーワード：外務省外交史料館，沖縄県出身移民，外務省記録，昭和10年代，開洋会館，帰国時旅券下付。

### I. はじめに

外務省外交史料館（東京都港区麻布1丁目）は1971年（昭和46）4月に開館し、2019年（令和元）には49周年目を迎えた。同館には戦災をまぬがれた幕末から明治・大正・昭和・平成にわたる近現代史の史料簿冊が、外務省記録として膨大な量が永久保存されている。その史料は学者・研究者を始め、一般人にも公開されている。

同史料のなかには沖縄県出身移民の外務省記録も相当数あり、検索や複写等に時間は要するが、県内の市町村史誌編集者もよく利用し活用している。

本稿の目的はこの膨大な同館の外務省記録のなかから、沖縄県出身移民関係史料を紹介し、若干のコメントを付し、移民の基礎資料を提供することにある。これまで同上テーマで本誌の『移民研究』第13号（2017年刊）に明治期、『同上』第14号（2018年刊）に大正期、『同上』第15号（2019年刊）に昭和初期の事例を掲載してきた<sup>1)</sup>。本号では同上テーマの（4）として、昭和10年代の事例を取り上げることとする。以上をもって、第二次世界大戦前までの沖縄県出身移民に関する外務省記録の事例の紹介を終了したい。

### II. 沖縄県出身移民の外務省記録

#### 1. 「海外移植民団体関係雑件，各地海外協会」第単巻，J・1・2・0・J12-2，簿冊

「開洋会館入所者事業成績報告ニ関スル件」

沖縄県知事より外務省亜米利加局長あて、1934年（昭和9）8月2日付，社第1016号のつぎの公文書が送付された。（引用に際し，筆者により句読点を付与し，段落を入れた。以下同様）

沖縄県海外協会開洋会館ノ開設ニ就テハ種々御高配ヲ相煩有難奉存候。七

月六日ヨリ事業を開始シ、第一回ノ入所者四十六名、第二回百二十六名有之。引続き入所者アリテ、此等ハ別紙報告書ノ通り熱心ニ訓練ヲ受ケツヽアリテ、一同喜ヒ居る状態ナレハ、所期ノ目的ヲ達セラルヽモノト思惟セラレ候条、今後共一層ノ御援助賜度及懇願候也。

同上公文書を要約すると、沖縄県知事より外務省亜米利加局長あて、沖縄県海外協会「開洋会館」開設へのお礼を述べ、入所者の報告を次のようにしている。1934年（昭和9）7月6日より事業を開始し、入所者は第1回が46名、第2回が126名であり、引き続き入所者がある。別紙報告書のとおり日程をこなし、かれらは熱心に訓練を受けているので、職員一同喜んでいる。所期の目的が達せられると思うので、今後とも一層のご援助をたまりたくお願いいたします。

以下、別紙として「開洋会館渡航者入所成績」がつづくが、実にその訓練の実態が詳細に報告しているので、全文を紹介する<sup>2)</sup>。

開洋会館入所日は毎月五日、十一日、十七日、二十三日、二十九日ノ五回ト定メ、入所中ノ訓練ニハ山里、漢那、譜久村ノ三幹事コレニ當リ、重ニ食事、挨拶、時間励行、清潔整頓、普通語励行、洗面、入浴等ニツイテ訓練ス。

#### 第一回入所日：昭和九年七月六日。

一入所人員：四十六名。

内訳：伯刺西爾行七家族三十一名、秘露行四名、比律賓行十名、亜爾然丁行一名。

一教養日程：第一日目、午後二時入所。一同ヲ集メ氏名点呼ノ後配室。各室ニ一名乃二名ノ世話係ヲ置キ、室内ノ掃除ヲナサシム。午後四時ヨリ六時マデ入浴、午後八時ヨリ入所中ノ一般心得ニツイテ話ス。

第二日目、午前六時起床。直チニ屋上ニ於テ遥拝（コレハ毎日行フ）。午前九時ヨリ同十一時マテ渡航者トシテノ一般心得、特ニ県人ノ欠点ヲ挙ケテ反省ヲ促ス。午後一時ヨリ三時マテ携帶品ニツイテ話ス。入浴。午後八時ヨリ座談会ヲ開キ、言語ノ練習ヲナサシム。

第三日目、午前九時ヨリ同十一時マテ本邦移植民事業及ヒ県人海外發展ノ現状ヲ話ス。午後一時ヨリ同三時マテ船中及出發港ニ於ケル心得ヲ話ス。

第四日目、午前九時ヨリ同十一時マテ県社会教育主事諸見里朝清氏ノ修養講話アリ。午後一時ヨリ同三時マテ県衛生課長江本七福氏ノ衛生講話アリ。午後八時ヨリ映写会ヲ開ク。

外交史料館所蔵沖縄県出身移民の外務省記録 (4)

—昭和10年代の事例— (石川友紀)

日程 第二回										日程 第一回									
昭和九年七月十一日入所										昭和九年七月六日入所									
月日	七月	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	全	月日	七月	六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	全
起床			午前六時	全	全	全	全	全	全	起床			午前六時	全	全	全	全	全	全
通掃			六時	全	全	全	全	全	全	通掃			六時	全	全	全	全	全	全
朝食			七時	全	全	全	全	全	全	朝食			七時	全	全	全	全	全	全
行事	室内外ノ掃除	講話	携帶品ニツイテ	渡航後ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	行事	室内外ノ掃除	渡航後ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得
昼食	全	全	全	全	全	全	全	全	全	昼食	全	全	全	全	全	全	全	全	全
行事	修了式	宗教事情	渡航後ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	渡航中ノ心得	行事	修了式	服装ニツイテ	宗教事情	衛生講話	出発前ノ心得	携帶品ニツイテ	自一時至三時	配室・世話係ノ依嘱	配室・世話係
入浴			全	全	全	全	全	全	全	入浴		全	全	全	全	全	全	全	全
夕食			全	全	全	全	全	全	全	夕食		全	全	全	全	全	全	全	全
行事	座談会									行事	座談会								
点呼	全	全	全	全	全	全	全	全	全	点呼	全	全	全	全	全	全	全	全	全
消燈	全	全	全	全	全	全	全	全	全	消燈	全	全	全	全	全	全	全	全	全

第五日目、午前九時ヨリ同十一時マテ渡航中ノ心得ヲ話ス。午後一時牧師照屋寛範氏ノ宗教講話アリ。

第六日目、午前九時ヨリ渡航地ニオケル一般常識ヲ授ケ、風俗習慣ノ異ル点ヲ説ス。午後一時ヨリ服装ニツキテ諸注意ヲ促シ、試問ヲ行フ。

第七日目、午前中ニ室内ノ掃除ヲナサシメ、修了式ヲ挙行ス。正午退所。

第二回入所日：昭和九年七月十一日

一入所人員：百二十六名

内訳：伯刺西爾行二十二家族百六名、比律賓行十七名、亜爾然丁行三名。

一教養日程：第一日目、午後二時入所。一同ヲ講堂ニ集メ氏名点呼ノ後ニ配室。一室二十名乃至十二名ヲ収容。入浴後入所中ノ一般心得ヲ話ス。

第二日目、午前六時起床。屋上ニ於テ遥拝シ、深呼吸ト軽イ運動ヲナス(コ

レハ毎日行フ)。午前九時ヨリ同十一時マテ渡航者トシテノ一般心得、特ニ県人ノ欠点ヲ挙ケテソノ矯正ニ努ム。午後一時ヨリ三時マテ県衛生課技師玉城文雄氏ノ衛生講話。

第三日目、午前、午後ニ亘リ移植民一般事情ト渡航心得ヲ話ス。

第四日目、午前八時牧師久保光治、服部園次郎、亜嘉良薫三氏ノ宗教講話アリ。午後ハ渡航中ノ心得。

第五日目、午前中ハ携帯品ニツキテ注意ヲ促シ、午後ハ渡航先ニ於ケル心得ヲ話ス。

第六日目、午前九時県社会事業主事知花英康氏ノ精神講話アリ。午後ハ宗教講話ヲ行ヒ、讚美歌ヲ歌ワセ信仰ニ目覚メシム。午後八時ヨリ一同ヲ講堂ニ集メ、送別座談会ヲ開ク。五分間演舌テ氣ヲ吐ク。

第七日目、室内外ノ掃除ヲナシ、修了式ヲ挙行ス。退所。

第三回：四十一名、目下入所中。

## 2. 「本邦移民取扱人関係雑件、海外興業株式会社、海外渡航者名簿、伯刺西爾行」

丁・1・2・0・丁3-1-1、自昭和10年2月至同10年9月、簿冊。

「渡航者名簿届」海外興業株式会社（東京市麴町区丸ノ内3丁目6番地）取締役社長井上雅二より外務大臣廣田弘毅あて、1935年（昭和10）2月18日付、亜米利加局第3課同年2月24日接受。

「第貳百四拾壹回伯刺西爾行移民名簿」

ぶえのすあいれす丸便、昭和十年二月十六日神戸出帆、海外興業株式会社。

輸送監督：加藤一平、輸送監督助手：明和定治、同：桑原竹次郎、同：大西清志。

海外興業株式会社より外務省へ提出された「渡航者名簿届」の最初のページに「第241回伯刺西爾行移民名簿」として、「ぶえのすあいれす丸」1935年（昭和10）2月16日神戸出港とあり、移民の世話役として輸送監督1名、同助手3名の名が記されている。

つぎに海外興業株式会社作成の「ぶえのすあいれす丸」便の乗客名簿が掲載されている。最初に「第241回伯刺西爾国行移植民府県別表」があり、内容として府県別に拓務省補助家族移民、拓務省補助夫婦移民、拓務省補助単独移民、拓務省補助呼寄移民、拓務省補助再渡航同伴初渡航移民、イグアペ植民（乙種）、再渡航移民の7タイプ（区分）が見られた。統計として日本移民全体の7区分の小計と、海外移住組合による移民と併せて本船乗客の移民は、男性が426人、女性が331人で、合計757人であった。

同船乗客のなかから沖縄県出身移民を拾い出すと、拓務省補助家族移民の13家族・57

人が見られた。その移民数の内訳は 12 歳以上が 45 人、12 歳未満 7 歳以上が 3 人、7 歳未満 3 歳以上が 2 人、3 歳未満が 7 人であり、男性が 33 人、女性が 24 人であった。

以下、1935 年 (昭和 10 年) 2 月 16 日神戸出港の「ぶえのすあいれす丸」便、海外興業株式会社取扱いの「ブラジル行移民名簿」より、拓務省補助家族移民の沖縄県出身移民 57 名を取り上げることとする。なお、同移民の渡航者はブラジル国サンパウロ州で、契約の期限は 1 農年で農業に従事する契約移民であった。

移民名簿の様式は戦前 1929 年 (昭和 4) 外務省から分離した拓務省も、外務省の「海外旅券下付表」とほぼ同様で、つぎの 10 項目であった。旅券番号、渡航許可ノ官庁及年月日、家長トノ関係、氏名、職業、原籍、生年月日、年齢、生年西暦、換算数。

名簿の掲載にあたっては、漢数字を算用数字に改め、氏名を先にもってきた以外は原典のとおりとした。

- ①氏名：亀谷源次郎，旅券番号：271203，渡航許可ノ官庁及年月日：沖縄県，昭和 9 年 12 月 29 日，家長トノ関係：家長，職業：農（農業），原籍：沖縄県国頭郡今帰仁村字湧川 2464 番地，生年月日：明治 43 年 12 月 8 日，年齢：24 年 2 ヶ月，生年西暦：1910，換算数：1。
- ②同：亀谷タツ，同：同，同：同，同：妻タツ，同：同，同：同，同：大正 3 年 10 月 5 日，同：20 年 4 ヶ月，同：1914，同：1。
- ③同：亀谷源勇，同：271204，同：同，同：兄，同：同，同：同，同：明治 41 年 10 月 14 日，同：26 年 4 ヶ月，同：1908，同：1。
- ④同：亀谷ヨシ子，同：同，同：同，同：兄ノ妻，同：同，同：同，同：明治 33 年 5 月 5 日，同：34 年 9 ヶ月，同：1900，同：1。
- ⑤同：亀谷仁栄，同：271206，同：同，同：弟，同：同，同：同，同：大正 2 年 11 月 6 日，同：31 年 3 ヶ月，同：1913，同：1。
- ⑥同：仲宗根宗正，同：271205，同：同，同：妻ノ従弟，同：同，同：同 379 番地，同：大正 6 年 3 月 2 日，同：17 年 11 ヶ月，同：1917，同：1。
- ⑦同：仲宗根宗忠，同：271198，同：沖縄県，昭和 9 年 12 月 29 日，同：家長，同：農，同：沖縄県国頭郡今帰仁村字湧川 924 番地，同：明治 40 年 3 月 10 日，同：27 年 11 ヶ月，同：1907，同：1。
- ⑧同：仲宗根タケ，同：同，同：同，同：妻，同：同，同：同，同：大正元年 11 月 14 日，同：22 年 3 ヶ月，同：1912，同 1。
- ⑨同：嘉陽宗松，同：271199，同：同，同：従弟，同：同，同：同 486 番地，同：大正 5 年 3 月 12 日，同：18 年 11 ヶ月，同：1916，同：1。
- ⑩同：嘉陽宗孝，同：271154，同：沖縄県，昭和 9 年 12 月 29 日，同：家長，同：農，同：

- 沖縄県国頭郡今帰仁村字湧川 966 番地, 同: 大正 2 年 2 月 10 日, 同: 22 年 0 ヶ月, 同: 1913, 同: 1。
- ⑫同: 嘉陽ウシ, 同: 同, 同: 同, 同: 妻, 同: 同, 同: 同, 同: 同, 同: 同, 同: 大正 2 年 3 月 4 日, 同: 21 年 11 ヶ月, 同: 1913, 同: 1。
- ⑬同: 嘉陽宗幸, 同: 271155, 同: 同, 同: 従兄, 同: 同, 同: 同 598 番地, 同: 明治 44 年 8 月 5 日, 同: 23 年 6 ヶ月, 同: 1911, 同: 1。
- ⑭同: 伊波興祐, 同: 271150, 同: 沖縄県, 昭和 9 年 12 月 29 日, 同: 家長, 同: 農, 同: 沖縄県国頭郡今帰仁村字天底 1448 番地, 同: 明治 44 年 10 月 27 日, 同: 23 年 4 ヶ月, 同: 1911, 同: 1。
- ⑮同: 伊波カメ, 同: 同, 同: 同, 同: 妻, 同: 同, 同: 同, 同: 同, 同: 明治 44 年 10 月 14 日, 同: 23 年 4 ヶ月, 同: 1911, 同: 1。
- ⑯同: 伊波興清, 同: 271151, 同: 同, 同: 従弟, 同: 同, 同: 同 1475 番地, 同: 大正 7 年 11 月 2 日, 同: 16 年 3 ヶ月, 同: 1918, 同: 1。
- ⑰同: 新城高吉, 同: 271190, 同: 沖縄県, 昭和 9 年 12 月 29 日, 同: 家長, 同: 農, 同: 沖縄県国頭郡国頭村字宇良 23 番地, 同: 明治 33 年 6 月 11 日, 同: 34 年 8 ヶ月, 同: 1900, 同: 1。
- ⑱同: 新城ゴゼイ, 同: 同, 同: 同, 同: 妻, 同: 同, 同: 同, 同: 同, 同: 明治 37 年 3 月 2 日, 同: 30 年 11 ヶ月, 同: 1904, 同: 1。
- ⑲同: 新城清, 同: 同, 同: 同, 同: 2 女, 同: 同, 同: 同, 同: 同, 同: 大正 15 年 11 月 20 日, 同: 8 年 3 ヶ月, 同: 1926, 同: 1/2
- ⑳同: 新城京, 同: 同, 同: 同, 同: 5 女, 同: 同, 同: 同, 同: 同, 同: 昭和 8 年 10 月 24 日, 同: 1 年 4 ヶ月, 同: 1933, 同: 0。
- ㉑同: 新城高明, 同: 271191, 同: 同, 同: 甥, 同: 同, 同: 同, 同: 同, 同: 大正 9 年 3 月 16 日, 同: 14 年 11 ヶ月, 同: 1920, 同: 1。
- ㉒同: 仲村渠喜盛, 同: 271160, 同: 沖縄県, 昭和 9 年 12 月 29 日, 同: 家長, 同: 農, 同: 沖縄県中頭郡中城村字瑞慶覧 801 番地, 同: 大正 5 年 4 月 20 日, 同: 18 年 10 ヶ月, 同: 1916, 同: 1。
- ㉓同: 仲村渠ヨシ, 同: 同, 同: 同, 同: 妻, 同: 同, 同: 同, 同: 同, 同: 大正 3 年 7 月 15 日, 同: 20 年 7 ヶ月, 同: 1914, 同: 1。
- ㉔同: 仲村渠喜順, 同: 同, 同: 同, 同: 長男, 同: 同, 同: 同, 同: 同, 同: 昭和 9 年 2 月 15 日, 同: 1 年 0 ヶ月, 同: 1934, 同: 0。
- ㉕同: 仲村渠喜蒲, 同: 271161, 同: 同, 同: 従兄, 同: 同, 同: 同, 同: 同 479 番地, 同: 明治 44 年 11 月 28 日, 同: 23 年 3 ヶ月, 同: 1911, 同: 1。

- ②⑤同：比嘉佑吉，同：271162，同：同，同：妻ノ従弟，同：同，同：同字喜舎場46番地，同：大正7年7月10日，同：16年7ヶ月，同：1918，同：1。
- ②⑥同：澤岬實，同：271171，同：沖縄県，昭和9年12月29日，同：家長，同：農，同：沖縄県中頭郡西原村字幸地111番地，同：明治34年11月8日，同：33年3ヶ月，同：1901，同：1。
- ②⑦同：澤岬トヨ，同：同，同：同，同：妻，同：同，同：同，同：明治44年6月25日，同：23年8ヶ月，同：1911，同：1。
- ②⑧同：澤岬繁，同：同，同：同，同：長男，同：同，同：同，同：昭和7年11月15日，同：2年3ヶ月，同：1932，同：0。
- ②⑨同：與那嶺宏昌，同：271172，同：同，同：従弟，同：同，同：同938番地，同：大正9年5月20日，同：14年9ヶ月，同：1920，同：1。
- ③⑩同：安慶名敏夫，同：271182，同：沖縄県，昭和9年12月29日，同：家長，同：農，同：沖縄県中頭郡具志川村字具志川52番地，同：大正5年11月20日，同：18年3ヶ月，同：1916，同：1。
- ③⑪同：安慶名スナヲ，同：同，同：同，同：妻，同：同，同：同，同：大正7年2月20日，同：17年0ヶ月，同：1918，同：1。
- ③⑫同：安慶名カマ，同：271183，同：同，同：妹，同：同，同：同，同：大正9年2月12日，同：15年0ヶ月，同：1920，同：1。
- ③⑬同：上原松，同：271180，同：沖縄県，昭和9年12月29日，同：家長，同：農，同：沖縄県島尻郡小禄村字大嶺275番地，同：明治42年9月9日，同：25年5ヶ月，同：1909，同：1。
- ③⑭同：上原カマト，同：同，同：同，同：妻，同：同，同：同，同：明治44年3月15日，同：23年11ヶ月，同：1911，同：1。
- ③⑮同：上原正男，同：同，同：同，同：長男，同：同，同：同，同：昭和5年9月27日，同：4年5ヶ月，同：1930，同：1/4。
- ③⑯同：上原キヨ，同：同，同：同，同：長女，同：同，同：同，同：昭和9年2月10日，同：1年0ヶ月，同：1934，同：0。
- ③⑰同：上原正儀，同：271181，同：同，同：兄，同：同，同：同，同：明治38年11月8日，同：29年3ヶ月，同：1905，同：1。
- ③⑱同：上原ヨシ，同：同，同：同，同：兄ノ妻，同：同，同：同，同：大正元年11月2日，同：22年3ヶ月，同：1912，同：1。
- ③⑲同：上原樽，同：271175，同：沖縄県，昭和9年12月29日，同：家長，同：農，同：沖縄県島尻郡小禄村字小禄2440番地，同：明治35年1月25日，同：33年1ヶ月，同：



- 1902, 同:1。
- ④⑩同:上原ウト, 同:同, 同:同, 同:妻, 同:同, 同:同, 同:同, 同:明治38年10月25日, 同:29年4ヶ月, 同:1905, 同:1。
- ④⑪同:上原ミチ子, 同:同, 同:同, 同:長女, 同:同, 同:同, 同:同, 同:大正14年4月25日, 同:9年10ヶ月, 同:1925, 同:1/2。
- ④⑫同:上原キク, 同:同, 同:同, 同:2女, 同:同, 同:同, 同:同, 同:昭和2年1月5日, 同:8年1ヶ月, 同:1927, 同:1/2。
- ④⑬同:上原ヨシ, 同:271176, 同:同, 同:姪, 同:同, 同:同, 同:同, 同:大正9年7月10日, 同:14年7ヶ月, 同:1920, 同:1。
- ④⑭同:玉城武雄, 同:271207, 同:沖縄県, 昭和9年12月29日, 同:家長, 同:農, 同:沖縄県島尻郡知念村字志喜屋1292番地, 同:明治43年8月21日, 同:24年6ヶ月, 同:1910, 同:1。
- ④⑮同:玉城マカ, 同:同, 同:同, 同:妻, 同:同, 同:同, 同:同, 同:大正4年3月16日, 同:19年11ヶ月, 同:1915, 同:1。
- ④⑯同:玉城チヨ, 同:同, 同:同, 同:長女, 同:同, 同:同, 同:同, 同:昭和9年2月1日, 同:1年1ヶ月, 同:1934, 同:0。
- ④⑰同:玉城竹三郎, 同:271208, 同:同, 同:弟, 同:同, 同:同, 同:同, 同:大正9年5月18日, 同:14年9ヶ月, 同:1920, 同:1。
- ④⑱同:普天間定正, 同:271209, 同:同, 同:妻ノ従弟, 同:同, 同:同, 同:同1285番地, 同:大正6年2月4日, 同:18年0ヶ月, 同:1917, 同:1。
- ④⑲同:大城良亀, 同:271184, 同:沖縄県, 昭和9年12月29日, 同:家長, 同:農, 同:沖縄県島尻郡兼城村字波平55番地, 同:明治42年1月5日, 同:26年1ヶ月, 同:1909, 同:1。
- ④⑳同:大城カメ, 同:同, 同:同, 同:妻, 同:同, 同:同, 同:同, 同:明治43年6月12日, 同:24年8ヶ月, 同:1910, 同:1。
- ㉑同:大城榮子, 同:同, 同:同, 同:2女, 同:同, 同:同, 同:同, 同:昭和5年2月23日, 同:5年0カ月, 同:1930, 同:1/4。
- ㉒同:大城良雄, 同:同, 同:同, 同:長男, 同:同, 同:同, 同:同, 同:昭和9年7月12日, 同:0年7ヶ月, 同:1934, 同:0。
- ㉓同:大城良政, 同:271185, 同:同, 同:弟, 同:同, 同:同, 同:同, 同:大正8年9月5日, 同:15年5ヶ月, 同:1919, 同:1。
- ㉔同:幸地清洪, 同:271158, 同:沖縄県, 昭和9年12月29日, 同:家長, 同:農, 同:沖縄県島尻郡具志川村字仲村渠7番地, 同:明治42年3月10日, 同:25年11ヶ月, 同:

1909, 同 : 1。

⑤⑤ 同 : 幸地光枝, 同 : 同, 同 : 同, 同 : 妻, 同 : 同, 同 : 同, 同 : 明治 42 年 5 月 17 日, 同 : 25 年 9 ヶ月, 同 : 1909, 同 : 1。

⑤⑥ 同 : 幸地清輝, 同 : 同, 同 : 同, 同 : 長男, 同 : 同, 同 : 同, 同 : 昭和 8 年 9 月 30 日, 同 : 1 年 5 ヶ月, 同 : 1933, 同 : 0。

⑤⑦ 同 : 租根榮孝, 同 : 271159, 同 : 同, 同 : 妻ノ甥, 同 : 同, 同 : 同 15 番地, 同 : 大正 9 年 1 月 20 日, 同 : 15 年 1 ヶ月, 同 : 1920, 同 : 1。

### 3. 「外国旅券下付表一件, 中南米ノ部」丁・2・2・0・丁 13-1, 簿冊

中南米各国の領事館より外務省へ送付されてきた昭和 10 年代に日本へ帰国した移民に対し, 下付された旅券の名簿である。以下, 沖縄県出身移民の事例を各国別に取り上げてみる。

(1) ブラジル: 在サンパウロ日本領事館取扱いの「外国旅券下付明細表」1936 年 (昭和 11 年) 1 月 1 日より同年 6 月 30 日までの分。

△氏名: 金城ウト, 旅券番号: 10883, 本籍地: 沖縄県島尻郡真壁村字真壁 340 番地, 旅行先: 日本, 目的: 帰国, 下付年月日: 昭和 11 年 3 月 12 日。

(2) ブラジル: 「在サントス領事代理報告, 附属」1938 年 (昭和 13) 10 月 1 日付, 「外国旅券下付表」沖縄県出身移民多し, 2 名事例。

△ (氏名) 本人: 新垣千代吉, 男女別: 男, 生年月日: 明治 37 年 4 月 9 日, 原籍地: 沖縄県島尻郡伊平屋村 191 番地, 旅券番号: 第 10271 号, 職業: 農 (業), 旅行地: 日本, 目的: 帰国, (旅券) 発給日: 5 月 16 日 (昭和 13 年)。

△ (氏名) 本人: 東仲後牛吉, 男女別: 男, 生年月日: 明治 40 年 8 月 14 日, 原籍地: 沖縄県中頭郡勝連村南風原, 旅券番号: 第 10286 号, 職業: 農 (業), 旅行地: 日本, 目的: 帰国, (旅券) 発給日: 9 月 12 日 (昭和 13 年)。

(3) メキシコ: 「外国旅券下付提出ノ件」在メキシコ日本総領事館事務代理花見安太郎より, 外務大臣有田八郎あて, 1938 年 (昭和 13) 10 月より 1940 年 (昭和 15) 12 月までの分。

△氏名: 玉城英貞, 年齢 45, 原籍地: 沖縄県島尻郡糸満町 771 番地, 職業: 漁業, 旅券番号: 第 13437 号, 渡航地名: 日本, 渡航目的: 一時帰国, 旅券発給年月日: 昭和 13 年 11 月 9 日。(以下, 項目名省略)

△仲嶺眞武, 43, 沖縄県国頭郡国頭村字伊地 41 番地, 農業, 第 13452 号, 日本, 帰国, 昭和 14 年 3 月 10 日。

△玉城康男, 38, 沖縄県島尻郡糸満町 452 番地, 職業: 不明, 第 13475 号, 日本, 帰国, 昭和 14 年 7 月 11 日。

- △前田信勝，32，沖縄県国頭郡大宜味村字津波 679 番地，農業，第 15017 号，北米，営業取引，昭和 14 年 11 月 17 日。
- △平良松栄，38，沖縄県国頭郡大宜味村字津波 81 番地，農業，第 15023 号，北米，商用，昭和 15 年 1 月 5 日。
- △比嘉傳三，63，沖縄県国頭郡名護町大字字茂佐 325 番地，雑貨商，第 15032 号，日本，帰国，昭和 15 年 3 月 12 日。
- △宮城與整，39，沖縄県国頭郡名護町大字名護 153 番地，商業，第 15037 号，北米，商用，昭和 15 年 4 月 26 日。
- △上原俊，37，沖縄県中頭郡具志川村字大田 1，100 番地，家政婦，第 17004 号，日本，帰国，（昭和 15 年）。
- (4) アルゼンチン：「外国旅券下附表」在ブエノスアイレス日本領事館より，日本帝国外務省あて，普通第 2 号，附属，昭和 2 年 1 月 5 日付，自大正 15 年 10 月 1 日至昭和元年 12 月 31 日の分。
- △氏名：大城徳昌，年齢：32 歳，身分：戸主，本籍地：沖縄県島尻郡喜屋武村字福地 224，旅券の種類及番号：普通 005962，旅行地名：日本，旅行目的：帰国，下付日付：大正 15 年 11 月 1 日。
- △比嘉宗正・戸主宗賀長男，同カマト・宗正妻，同ハル・同長女，同キヨ・二女，35，26，4，2，沖縄県中頭郡中城村字伊舎堂 219，普通 005963 号，日本，帰国，大正 15 年 12 月 1 日。
- (5) ペルー：「外国旅券下付表並ニ受拂数及現在数進達ノ件」在里馬領事甘利造次より，外務大臣男爵田中義一あて，通 3 公第 58 号，昭和 3 年 4 月 1 日付，自昭和 3 年 1 月至同年 3 月分。
- △氏名：比嘉徳盛，身分：戸主蒲長男，年齢：29 才，本籍地：沖縄県，旅券番号：第 3515 号，旅行地名：亜爾然丁，旅行目的：農業（呼寄），下付月日：（昭和 3 年）2 月 6 日。
- △與儀松三，戸主榮久長男，39 才，沖縄県，第 3116 号，亜爾然丁，商業（呼寄），（昭和 3 年）2 月 15 日。
- △上運天英盛，戸主英用長男，31 才，沖縄県，第 3543 号，ボリビア，商況視察，昭和 11 年 8 月 14 日。
- △比嘉良吉，戸主良正 3 男，30 才，沖縄県，第 3544 号，ボリビア，商況視察，昭和 12 年 4 月 9 日。
- (6) ブラジル：パウルー管轄地域分。
- △上原勘七，本籍地：沖縄県国頭郡今帰仁村字玉城 1,811，旅券番号：第 10607 号，目的地：日本，下付年月日：昭和 13 年 11 月 24 日。

△源河幸吉, 沖縄県国頭郡羽地村字真喜屋 1,623, 第 10611 号, 日本, 昭和 13 年 12 月 24 日。

△安里清七郎, 沖縄県国頭郡羽地村字稲嶺 10, 第 10612 号, 日本, 昭和 13 年 12 月 24 日。

(以下, 昭和 14, 15, 16 年日本への帰国目的の沖縄県出身移民多いが省略す。)

(7) キューバ: ハバナ管轄地域分

△氏名: 上間嘉昇, 身分: 移民, 本籍地: 沖縄県国頭郡本部村字瀬底 71 番地, 年齢: 32 年 10 ヶ月, 旅券番号: 第 8023 号, 理由: 焼失ニ付再下付, 在ハヴァナ大日本帝国領事館, 下付年月日: 昭和 16 年 8 月 8 日。

(8) ブラジル: リベロンプレト管轄地域分

△氏名: 知花三良, 年齢: 54 才, 本籍地: 沖縄県中頭郡宜野湾村字嘉数 694 番地, 旅券番号: 第 5857 号, 旅行地: 日本, 旅行目的: 帰国, 下付年月日: 昭和 11 年 2 月 7 日。以下, 真境名定三 (東風平村出身), 又吉カメ (与那城村屋慶名), 伊波ヨシ子 (美里村字伊波) あり。

4. 「移民ニ関スル統計及調査関係雑件」第 2 巻, 丁 1・2・0・丁 8, 自昭和 9 年, 簿冊。

- ①「昭和 9 年中移民員数種別表送付ノ件」廣田外務大臣より在英松平大使外各在外公館長あて, 昭和 10 年 4 月 10 日付, 米 3 普通 565 号, 主管: 亜米利加局長, 主任: 第 3 課長。昭和 10 年 4 月 12 日發送済, 附属物同封。別表○印ノ部 107 ヶ所。

「移民員数種別表, 昭和 9 年中」以下, 大項目のみを記す。渡航許可員数・再渡航移民数 (昭和元年～同 9 年), 渡航地別, 職業別, 年齢別, 府県別渡航許可員数 (昭和 9 年, 全国の総数 2 万 8,087 人, 内訳男 1 万 6,419 人・女 1 万 1,668 人, 1 位沖縄県 2,659 人, 内訳男 1,635 人・女 1,024 人), 出発港地方庁別, 取扱人別, 渡航地別。

- ②「昭和 15 年中移民渡航者統計」昭和 16 年 9 月付, 亜米利加局第 3 課, 秘。

「外国旅券下付者数表, 移民, 昭和 15 年中」外務省亜米利加局調。(1 枚表省略す)

「移民員数種別表, 昭和 15 年中」以下, 大項目のみを記す。渡航許可員数・再渡航移民数 (昭和元年～同 15 年), 渡航地別, 職業別, 年齢別, 府県別渡航許可員数 (昭和 15 年, 全国の総数 3,216 人, 内訳男 1,803 人・女 1,413 人, 1 位沖縄県 852 人, 内訳男 513 人・女 339 人), 出発港地方庁別, 取扱人別, 渡航地別, 外務省亜米利加局調。

### Ⅲ. むすび

以上, 本誌にこれまで外務省外交史料館所蔵の沖縄県出身移民関係史料を, 外務省記録の事例として, 明治期を (1), 大正期を (2), 昭和初期を (3) として掲載してきた。今回はその (4) として昭和 10 年代の事例を取り上げて移民研究の基礎資料を提供した。こ

れをもって、第二次世界大戦前までの外交史料館所蔵の沖縄県出身移民関係史料収集分の事例掲載を終了する。以下、本稿(4)の概要を記しておこう。

1. 沖縄県出身移民の外務省記録1. では、1934年(昭和9)6月那覇市に設立された海外移民のための「開洋会館」の入所者事業成績報告に関するものである。すなわち、同年7月6日入所の第1回46名、同年7月11日入所の第2回126名について、一同が海外へ移民で送り出されるまでの7日間にわたる訓練としての日常の生活の実態が明らかとなった。

2. では、1935年(昭和10)2月18日付けの外務省へ提出された海外興業株式会社による「海外渡航者名簿」より、同年2月16日ブラジルへの移民が神戸港を出航した「ぶえのすあいれす丸」の乗客名簿のなかから、沖縄県出身移民のみを拾い出した。すなわち、県出身の拓務省補助家族移民は13家族・57人で、男性が33人、女性が24人であった。また、その年齢別内訳は12歳以上が45人、12歳未満7歳以上が3人、7歳未満3歳以上が2人、3歳未満が7人であった。

3. では、中南米各国在住の日本領事館が発給した「外国旅券下付表」の件で、主に日本へ帰国した移民についてのもので、外務省本省へ報告された分である。すなわち、県出身移民はブラジルが7人、メキシコが8人、アルゼンチンが2人、ペルーが4人、キューバが1人、計22人の「外国旅券下付表」の発給の事例を取り上げた。

4. では、外務省亜米利加局調査の移民に関する統計表のうち、「移民員数種別表、昭和9年中」と「同上、昭和15年中」の「府県別渡航許可員数」のなかから全国と県出身移民数を拾い出した。すなわち、「渡航許可員数」(移民数)は両年とも沖縄県が全国1位を占め、1934年(昭和9)が2,659人(男性1,635人・女性1,024人)、1940年(昭和15)が852人(男性513人・女性339人)であった。

最後に、筆者の移民研究に対する希望を述べておきたい。本誌で原典として使用してきた外務省記録が所蔵されている外務省外交史料館(在東京)には、近現代史の史料が膨大な数量で永久保存されている。移民研究者にとってもいまだ見ぬ簿冊も数多くあり、今後同史料館において史料の収集は欠かせない。

外交史料館の移民史料は、これまで沖縄県内市町村史の「移民・出稼ぎ編」の編集事業で数多く活用してきている。今後は沖縄県が主体となって同館の移民史料を収集してほしい。将来「世界のウチナーンチュセンター」(仮称)が設立されれば、収集史料の保存管理も可能となる。併せて、二世・三世等を含めた若手の移民研究者の輩出を期待したい。

## 注

- 1) 石川友紀(2017)「外交史料館所蔵沖縄県出身移民の外務省記録(1)——明治期の事例——」『移民研究』第13号, pp.105-120, 沖縄移民研究センター。石川友紀(2018)「同

上 (2) ——大正期の事例——」『移民研究』第 14 号, pp.125-138, 同上。石川友紀 (2019) 「同上 (3) ——昭和初期の事例——」『移民研究』第 15 号, pp.55-70, 同上。

- 2) 沖縄県海外協会が設立した「開洋会館」は那覇市若狭町に鉄筋コンクリート 3 階建の本館など, 1934 年 (昭和 9) 3 月に竣工し, 同年 6 月 11 日に官民約 300 人を集めて盛大な落成の式典が行われた。下記参照, 石川友紀 (1977) 「第二次世界大戦前の沖縄県における海外移民教育について」『海外教育』第 6 号, pp.21-22, 沖縄県高等学校海外教育研究協議会。

(いしかわ ともりのり・琉球大学名誉教授・地理学)